

年 報

こころの樹

– 事業報告 2008 年度（平成 20 年度） –



社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

目次

年 報.....	1
こころの 樹.....	1
はじめに.....	7
「心のかよった“ともに生きる社会”」をめざして	
.....	7
テレビ朝日福祉文化事業団.....	7
高齢者 福祉.....	10
お元気ですか！歌手の高齢者施設訪問 主催	
.....	10
第10回クプナ・フラ・フェスティバル 共催.....	10
高齢者はつらつカラオケコンクール 共催.....	11
けやき坂カルチャー教室 共催.....	12
ねんりんピック2008鹿児島大会.....	12
作文・小学生の絵コンクールの部 後援	
.....	12
3)の「マテ貝とり名人」がそれぞれ厚生労働大臣賞を受賞しました。 期日:平成20年1月25日～28日	13

Aging in Japan.....	13
高齢化社会日本の状況を海外に情報提供する事業 後援.....	13
高齢者リハビリ音楽療法 主催.....	13
高齢者のパソコン教室 共催.....	14
その他の高齢者福祉事業・団体への 支 援	14
心身障害者 福祉.....	18
第31回車椅子バスケットボール秋季大会 主催	
.....	18
第32回ハンディスキーチ親善大会 主催.....	19
第23回全日本視覚障害者柔道大会 後援....	20
第12回電動車椅子サッカー関東大会 後援..	21
32. 5センチメートルのサッカーボールをパスやドリブルをしながらゴールするというスピード感溢れるスポーツで、.....	21
障害者ヨット大会・第 17 回フリーダムヨットレース後援	21
ボランティアの手をかりて.....	22
第10回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 後援.....	22

自閉症カンファレンスNIPPON 2008 後援....

23

知的障害者リハビリ音楽療育 主催.....23

第10回障害者のわくわくカラオケコンクール共催
.....24

その他心身障害者福祉事業・団体への支援
.....24

優勝した皆川愛さん.....25

①期日:平成20年7月5日.....25

②期日:平成21年3月1日.....26

1.第31回わらじの会夏合宿.....26

2.千葉県手をつなぐ育成会～療育親子の旅

～26

3.血友病患者の子供たちを支援するむさし
の会夏合宿26

館 ひろしさん 手作り作品.....28

獅子舞 風船芸.....29

児童福祉.....30

高校生海外生活体験の旅inオレゴン 主催

.....30

江戸っ子杯野球大会2008 共催.....31

わいわい面白ハイク 主催.....	31
里親大会 共催/後援.....	32
夏の大学たんけん隊～福祉の心は みんなの心～ 後援.....	33
第58回社会を明るくする運動 協力/後援.....	34
児童福祉施設職員のためのワークショップ共 催	37
その他の児童福祉事業・団体への支援..	38
第 18 回ミュージックウェーブ	40
児童養護施設へ楽器をプレゼント.....	40
テレビ朝日福祉文化事業団創立30周年事業	41
横浜開港 150 周年記念.....	41
地デジ放送対応テレビプレゼント 主催...	
41	
その他支援.....	42
「第56回全国盲人福祉施設大会」後援	42
軽井沢の森音楽祭2008 後援.....	43
第57回東京都社会福祉大会 協賛.....	44

加入する福祉諸団体.....	44
第41回社会福祉大相撲.....	45
字幕放送・手話放送・解説放送 推進事業....	
48	
災害被災者支援義援金.....	49
中国・四川省大地震,ミャンマー・サイクロ ン, 国内・海外.....	49
ご寄付をいただいたの方々	52
00110-6-761778 「こころの樹」 にお振 込みください。.....	52
平成 20 年度収支報告.....	53
テレビ朝 日福祉 文化 事業 団(平 成 21 年 3 月 31 日現在).....	54

はじめに

「心のかよった“ともに生きる社会”」をめざして

社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年（昭和52年）8月、それまでの社名NETテレビからテレビ朝日（全国朝日放送）と変更したのを機に、より幅広い社会福祉活動をめざして設立しました。

事業団の設立は、1951年（昭和26年）6月に施行された社会福祉事業法に基づく第2種社会福祉法人として申請・認可されたものです。第1種社会福祉法人が児童養護施設や老人ホームなど福祉施設の設営を目的としているのに対し、第2種は事業活動を通じて社会福祉全般の増進にあたることを目的としています。

いま100年に一度とも言われる金融危機、そして世界不況の嵐が吹きまくり、私達の生活への不安はますますつのるばかりです。いわゆる「格差社会」のひずみは一層顕著になって、高齢者・心身障害者・児童などの暮らしが直撃されています。テレビやラジオ、インターネットなどでは連日のように高齢者や心身障害者など「社会的弱者」の悲しい事件・事故が報道されています。

少子高齢化が進み、時代は大きく変わろうとしています。事業団では、こうした大きな変化の中で多くの方々のご理解とご協力を得て、高齢者・心身障害者・児童などに対する福祉事業を積極的に推進するとともに、社会貢献に寄与していく所存です。

これからも放送事業と密接な連携を持ちながら広く福祉活動を展開し、心のかよった“ともに生きる社会”を作っていくことを念願しています。今後とも、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

テレビ朝日福祉文化事業団

目 次

はじめに 1

高齢者福祉

お元気ですか！歌手の高齢者施設訪問 4

クプナ・フラ・フェスティバル 4

高齢者はつらつカラオケコンクール 5

けやき坂カルチャー教室 6

ねんりんピック2008鹿児島大会 6

A g i n g i n J a p a n 7

高齢者リハビリ音楽療法 7

高齢者のパソコン教室 8

その他の高齢者福祉事業・団体への支援 8

心身障害者福祉

車椅子バスケットボール大会 12

ハンディスキーフェスティバル 13

全日本視覚障害者柔道大会 14

電動車椅子サッカー関東大会 15

フリーダムヨットレース 15

ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 16

全東京ろう社会人軟式野球T Dリーグ大会 16

自閉症カンファレンスNIPPON2008 17

知的障害者リハビリ音楽療育	17
障害者のわくわくカラオケコンクール	18
その他の心身障害者福祉事業・団体への支援	18
児童福祉	
高校生海外生活体験の旅 in オレゴン	24
江戸っ子杯野球大会2008	25
わいわい面白ハイク	25
里親大会	26
夏の大学たんけん隊	27
演劇ワークショップRemix	27
社会を明るくする運動	28
フィランソロピーLPGAプレイヤーズチャンピオンシップ	29
児童福祉施設職員のためのワークショップ	31
その他の児童福祉事業・団体への支援	32
第18回ミュージックウェーブ	34
福祉文化事業団創立30周年事業	35
その他支援	36
加入する福祉諸団体	38
社会福祉大相撲	39
字幕／手話／解説放送推進事業	42
災害被災者支援義援金	43
平成20年度収支報告	47

高齢者福祉

【お元気ですか！歌手の高齢者施設訪問

主催

芸能人やベテラン歌手が高齢者の施設を訪ねてお年寄りの皆さんと歌ったり、お話しをしたりする高齢者施設等訪問、昭和62年から数えて今年で23年、合計112回を重ねました。毎回、熱唱あり笑いありそして涙ありで、お年寄りの皆さんもゲストも一緒になって大盛り上がりのひと時を過ごします。お年寄りが心待ちしてくださる高齢者施設訪問、今年度は3度お訪ねしました。

平成20年 4月28日 恵り香

ケアハウス志村ハイライフ（板橋区）

平成20年12月23日 恵り香

富士見高齢者在宅サービスセンター（板橋区）

平成21年 3月28日 こまどり姉妹

グループホームぽっかぽか（埼玉県八潮市）



恵り香さん



こまどり姉妹

【第10回クプナ・フラ・フェスティバル

共催

今、高齢者から若い人までフラダンスがブームです。健康・美容・仲間作りにとてもいいと脚光を浴びています。当事業団では1999年国際高齢者年を記念して始まった「クプナ・フラ・フェスティバル」を共



催してきました。記念すべき10回目は97歳を筆頭におよそ400名のクプナ（シニア）が出演、華やかで素晴らしいフラを披露していただきました。また、ハワイ州のリンダ・リングル知事からグループの代表者に感謝のメッセージ状が贈られ、その後フラ界の重鎮アロハ・デリレイファミリーショーがフェスティバルに華を添えました。

期日：平成20年7月6日

場所：東京厚生年金会館大ホール

主催：クプナ・フラ・フェスティバル
運営委員会

共催：日本チャリティ協会

後援：東京都、全国老人クラブ連合会 他



【高齢者はつらつカラオケコンクール】 共催

高齢者のカラオケコンクールが今年度は都内で3回開催されました。（141回～143回）好きな歌をお腹から思いっきり声出して、しかも大勢の聴衆の前で歌うことはとても健康にいいことです（談：音楽評論家・伊藤強氏）。しかも採点されるんですからとても刺激的です。日頃から稽古したり、教室に通ったりしてこの日のために備えてきたお年寄りの晴れ舞台です。審査員の先生方も、出場者のレベルの高さに驚いていらっしゃいました。

期日：平成20年 6月13日 渋谷区大会 代々木八幡区民会館

11月 5日 世田谷区大会 玉川区民会館ホール

11月11日 大田区大会 大田区民ホール・アプロコ

共催：日本チャリティ協会ほか



熱唱



各賞受賞のみなさん

けやき坂カルチャー教室

共催



書道

毎月1回（年間10回）テレビ朝日本社多目的スペース ümuで開催している高齢者を対象にした「けやき坂カルチャー教室」。

講座はレースドール・プリザーブドフラワー・書道・アートクレイシルバー・デコラティブアレンジメント・チャイナペイン

トの6つの講座を同一会場で開催しています。また開始前には全員で手話のミニ講座も行われます。高齢者の方々が手先を使ったり、会話を楽しんだり、月一度の再会を楽しみに参加されています。

共催：さわやかグループ

会場：ümu（テレビ朝日多目的ホール）



けやき坂教室

ねんりんピック2008鹿児島大会

作文・小学生の絵コンクールの部

後援

「かごしまで、元気・ふれあい・ゆめ噴火」をテーマに「第21回全国健康福祉祭（ねんりんピック）」が鹿児島市を中心に開催されました。総合開会式の行われた県立鴨池競技場には常陸宮殿下ご夫妻をお迎えし、およそ1万人の選手役員が堂々の入場をして4日間の大会が幕を開きました。競技は60歳以上の方々によるマラソン、グランドゴルフ、弓道などスポーツ21種目、また俳句、囲碁将棋、民謡などの文化交流4種目。連日晴天の下、華やかに繰り広げられました。

事業団では、例年「ねんりんピック」と同時に行われている作文と絵のコンクール「長寿社会・私の主張」等を後援・助成しています。作文の部は1083編（小学生の部479編）、絵画は2744点の応募がありました。



入選作品

表彰式の行われた鹿児島県文化センター宝山ホールでは「長寿社会・私の主張」部門で奈良県の馬詰真一郎さん（93歳）の「高齢者の生き方」、「小学生の絵」では香川県の大西晴日さん（小1）の「おじいちゃんのつくるやさいはおいしいな」、「小学生の作文」は鹿児島県の若松大輝君（小3）の「マテ貝とり名人」がそれぞれ厚生労働大臣賞を受賞しました。

期日：平成20年10月25日～28日

会場：鹿児島県鹿児島市をはじめとする

10市3町

主催：厚生労働省、鹿児島県、

長寿社会開発センター



Aging in Japan

高齢化社会日本の状況を海外に情報提供する事業

後援

人口高齢化の全世界的な進行に伴い、高齢化最先進国日本の状況に海外の関心が高まっています。しかし「日本」の高齢社会やシニアの動向を伝える日本の情報提示が、日本語の資料データであるために、その情報収集は日本人専門家にも難しい状況です。このような現状に鑑み、(社)エイジング総合研究センターは、我が国と国際的少子化高齢化の調査研究と広報活動を行っており、Webサイト「Aging in Japan」（英語・日本語併記）での情報を広く内外に発信しています。事業団でもその主旨に賛同し助成しています。

* 今年度アクセス数：26,000件

高齢者リハビリ音楽療法

主催

リハビリ音楽療法とはみんなで歌ったり、打楽器を叩いたり、またリズム動作などで、楽しみながら心と身体機能の衰えを少しでも遅らせる音楽療法です。介護なしでは歩けないお年寄り、認知症が進んで意志を伝えることも出来にくいお年寄りにも効果的です。今年は港区特別養護

老人ホーム「サンサン赤坂」を訪問。指導の音楽療法士の赤星建彦先生（東京ミュージック・ボランティア協会）夫妻のリードで昔懐かしい唱歌を歌ったり、手作りの打楽器でリズムをとったりするうちに、みなさんの表情が和やかに明るくなりました。音楽療育において楽器を演奏したり歌を歌ったりすることは、精神的ストレスの発散を促し、身体的には音楽に乗って日常あまり使わない筋肉や関節などを使うことで無理なく自然なりハビリにつながるといわれています。

期日：平成21年2月4日

場所：特別養護老人ホーム

「サンサン赤坂」（港区）

協力：東京ミュージック・ボランティア協会



みんなでリズムを……1・2・3

【高齢者のパソコン教室

共催

情報が錯そうする社会の中で高齢者が老後を豊かに送るには、パソコンが必要不可欠となっています。

「高齢者の私でもできるかしら？」という疑問に答えるため、高齢者パソコン教室では楽しみながら覚えていけるような講座を開催しています。

“忘れるのは年齢、覚えるのはキーボード”の操作で多くの方が脳の老化を防ぎ、パソコンを通してふれあいの輪を広げ、仲間づくりをされています。

*年間120時間、165人が参加しています。

共催：さわやかグループ

【その他の高齢者福祉事業・団体への支援

●さわやかバスツアー

共催

日頃とかく家の中に閉じこもりがちなお年寄りが、気のおけない仲間と日帰りバスツアー。車内では賑やかにお喋り、名所旧跡を訪ねて、名

物料理を食べて、体験教室にも立ち寄って。そんなバス旅行が今年度は2回催されました。

夏の軽井沢。木陰でゆっくり昼食、その後、軽井沢大賀ホールで「軽井沢の音楽祭2008」に。世界一流のアーティストが奏でるバイオリン＆ピアノの音色の中でゆったりと時間を過ごしました。

冬は春の一足早い静岡へ。「東海の日光」と言われる静岡で、重要文化財の静岡浅間神社を詣で、お昼は広重の絵のモデルにもなった丸子宿でとろろ定食、駿府宿ではわさび漬けづくりに挑戦してきました。

一回目：平成20年8月12日 軽井沢

二回目：平成21年1月30日 静岡市内

共催：さわやかグループ



軽井沢



旧東海道・静岡市丸子の宿

●高連協・高齢社会研究セミナー

後援

「地域力をつくるシニアたち」をテーマに今年度の高齢社会研究セミナーが開催されました。高連協共同代表の樋口恵子氏の挨拶に続いて、同じく共同代表の堀田力氏が「シニアよ、地域力になろう」と題して基調講演を行いました。また、今こそ「高齢者は若者の後ろ盾になろう」と提唱、シニアの知恵と先見力を世の中に還元するためには地域で異なる世代と交流をもち、子どもを含めてそれぞれが生きることが楽しい互助コミュニティをつくっていくことだと述べました。シニアが「地域力」になれば、シニアのこころと体の健康維持にも、家族関係にもプラスになり、よりよい人生を全うできると結びました。

期日：平成20年7月14日

会場：日本都市センター会館

主催：高齢社会NGO連携協議会（高連協）

内閣府

後援：朝日新聞社



樋口恵子代表



堀田力代表

●高連協・プロダクティブ・エイジング（定年後の働き方と生活設計） 後援

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構は高齢者シニアの労働参加を実施するため、毎年10月「高齢者雇用フェスタ」を開催しています。高連協はこのイベントに賛同して、10月2日アクティブなシニアを対象にセミナーが開催され、200名の働く場づくりを目指すシニアリーダーが参加し好評でした。



場所：東京ドーム・ホテル「天空」

演者：上田研二 氏（株）高齢社 代表取締役社長

永戸祐三 氏 日本労働者協同組合連合会センター事業団 理事長

岡本憲之 氏（N）日本シンクタンク・アカデミー 理事長

主催：高齢社会NGO連携協議会（高連協）

●第29回 MCコンテスト全国大会 後援

年に一度、全国のアマチュア歌唱ファンが一堂に会し、本格的な広いステージでフルバンド生演奏をバックに歌唱力を競う音楽の祭典「MCコンテスト」が開催されました。事業団では歌を通じて高齢者の人々の生きがいづくりの一助としてこのコンテストを後援・助成しています。

今回は全国から1414本のテープ予選応募があり、審査を経て選ばれた45名がグランプリを目指して熱い戦いを繰り広げました。

厳正審査の結果、グランプリには「♪雨の思い出」を歌った小俣弘子さん、テレビ朝日福祉文化事業団賞は「♪イヨマンテの夜」を歌われた76歳の中島脩さんが受賞されました。

場所：中野サンプラザホール

期日：平成20年9月21日

主催：(株)MC音楽センター

審査委員長 船村徹氏（作曲家・日本音楽著作権協会会長）

審査委員 叶弦大氏、山中博氏、前田利明氏、他



船村徹さんと出場者のみなさん

●あの頃が甦る大正琴の調べ

協力

大正琴の演奏グループ「エンゼルハート」の高齢者施設訪問を事業団は支援しています。お年寄りの皆さんは、大正琴の音色を聴くことで心が和んだり、懐かしいメロディーは一緒にくちづさみ、歌うことで記憶が甦るようです。演奏のあとは大正琴に触ったり、演奏方法を習ったりしながら交流を図ります。

以下、今年度の施設訪問先です。

平成20年6月22日

グランダ中村橋（練馬区）

平成20年9月15日

潮見老人ホーム（江東区）

平成20年10月31日

西水元あやめ園（葛飾区）

平成21年 1月14日

大森平和の里（大田区）

平成21年 1月21日

喜多見ホーム（世田谷区）



心身障害者福祉

第31回車椅子バスケットボール秋季大会 主催

今年度の秋季大会は10月5日、神奈川県平塚市・馬入ふれあい公園ひらつかアリーナで18のチームが参加して開催されました。

試合は3つのリーグに分かれて始まり、巧みな車椅子操作とスピード、動きながらの正確なパスやシュートなどエキサイティングな試合が繰り広げられました。秋季大会では、今回も車椅子バスケットボールの一層の普及振興と障害者・健常者の垣根を越えて楽しんでもらおうと、障害者だけでなく健常者も参加、障害者と健常者の混成チーム、健常者チーム同士の試合も行われました。

車椅子バスケットボールは障害者がスポーツを通じて、体力の維持増強、機能回復等の能力向上を図ると共に社会の正しい認識を高めることを目指しています。

共催：日本車椅子バスケットボール連盟

協力：平塚バスケットボール協会



シュート！

●第37回内閣総理大臣杯争奪 選手権大会

後援

期日：平成20年5月2日～4日

場所：東京体育館

主催：日本車椅子バスケットボール連盟

●第5回ジュニア選手育成講習会

後援

期日：平成20年8月29日～31日

会場：国立乗鞍青少年交流の家（岐阜県高山市）

主催：日本車椅子バスケットボール連盟ジュニア選手育成委員会

第32回ハンディスキーリー親善大会

主催

ハンディスキーリー親善大会は、障害者と健常者がスキーを通じて競い合いながらお互いの理解を深め、肉体的・精神的にも障害を克服する意欲を養い、潤いのある豊かな生活の向上を図ろうとするもので、事業団では初回から主催してきました。今回は悪天候のため競技は中止になりましたが、重度の障害があってもスキーを楽しむことが出来る「バイスキー」の体験教室などは予定通り行われました。

「バイスキー」は2本のスキーが椅子を支え、重心も低く鋭いカービングターンも可能でしかも安定性に優れ、初心者も迫力のあるスキーを味わうことができます。県内の福祉施設のスタッフや大勢のボランティアの皆さんに協力して頂き大いに盛り上りました。

期日：平成21年1月30日～31日

場所：栃木県那須塩原市ハンターマウンテン塩原スキー場

共催：日本身体障害者スキー協会

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟



バイスキー



●第38回全国身体障害者スキーフェスティバル

後援

期日：平成21年2月12日～14日

場所：長野県野沢温泉スキー場

主催：日本障害者スポーツ協会 日本身体障害者スキー協会 他

●第24回身体障害者スキーフェスティバル関東大会

後援

期日：平成21年3月5日～6日

場所：群馬県丸沼高原スキー場

主催：日本身体障害者スキー協会 他

第23回全日本視覚障害者柔道大会

後援

「第23回全日本視覚障害者柔道大会」が11月24日、東京都文京区の講道館で開催されました。この大会は目の不自由な人の柔道の普及・発展と親睦を図り、また人間形成に資することを目的としています。今大会には全国から16歳以上の男女42名の選手が参加し熱戦が展開されました。体重別個人戦男子は6階級、女子個人は3階級合同、50歳以上のシニアの部が行われました。都道府県対抗団体戦では埼玉県が優勝しました。

また北京パラリンピックには男子6名、女子3名が出場し活躍しました。

主催：日本視覚障害者柔道連盟



【第12回電動車椅子サッカー関東大会

後援

電動車椅子サッカーは、手・足・アゴなどその人がもっともコントロールしやすいやり方で操作レバーを動かし、自在に動き回りながら車椅子の先端に取り付けたフットガードを使って直径32.5センチメートルのサッカーボールをパスやドリブルをしながらゴールするというスピード感溢れるスポーツで、



ガツツだぜ！

比較的重度の身体障害者でもプレーすることができます。

当事業団で後援している「電動車椅子サッカー関東大会」は、9月6日、千葉県八千代市市民体育館で開催されました。電動車椅子同士がガツンガツンと音をたててぶつかりあう熱戦が繰り広げられ、デビジョン1は「FINE」、デビジョン2は「東京M. F. C ゴール電・ファイターズ」が優勝しました。

主催：関東ブロック電動車椅子サッカー協会



【障害者ヨット大会・第17回フリーダムヨットレース 後援



ロンドンパラリンピックへの第一歩！をキャッチフレーズに2月15日、第17回フリーダムヨットレースが、千葉市稻毛ヨットハーバーで開催され、6人の障害者が参加しました。今年は1艇に障害者2人が乗り込み、前が舵をとり後ろは帆の操作です。そして、健常者は別艇からサポートしました。

海上は気温12度、北西の風3メートルと絶好のコンディション、抜きつ抜かれつのレースで盛り上りました。優勝は円谷・山本組。

4年後の夢のロンドンパラリンピックへの
スタートダッシュです。

主催：特定非営利活動法人ヨットエイドジャパン



ボランティアの手をかりて……

第10回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 後援

今年のウィルチェアーラグビー日本選手権大会は千葉市の千葉ポートアリーナで12月19日から21日まで開催されました。

四肢麻痺等（頸髄損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障害）を持つ者がチームスポーツをするためにカナダで考案され、欧米では広く普及している車椅子による国際的なスポーツです。

2000年のシドニーパラリンピックから公式種目となり、ラグビーはラグビー、バスケットボール、バレーボールなどの各要素を取り入れています。コートは室内バスケットボール用のコートを使用、球はラグビーボールではなくバレーボール球が用いられます。自分の車椅子を衝突させたり相手を引っ掛けたりするタックルが認められており迫力があります。

優勝は昨年に続き、東京の「B U L I T Z」が4連覇を成し遂げました。なお北京パラリンピックで日本代表チームは7位に入賞しました。

主催：日本ウィルチェアーラグビー連盟

後援：千葉市他



撮影 中山健太

第2回全東京ろう社会人軟式野球Tドリーグ大会 後援

期日：平成20年3月23日、4月6日、5月25日、6月1日

6月8日、7月6日、7月27日、8月31日

会場：北区新荒川大橋球場 江東区潮見野球場 板橋区戸田橋球場

足立区江北橋緑地右岸球場

主催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

【自閉症カンファレンスNIPPON2008】

後援

自閉症の人たちへの真の療育が発展すること、自閉症の人たちに接する教師、福祉従事者、親をはじめ全ての人たちの連携を広げ、その意識と資質を向上させることを目的とした「自閉症カンファレンス」が大妻女子大学の講堂で開催されました。2002年から毎年1200人の参加者を集めて開催しているこのカンファレンスは7回目を迎え、今年もTEACCHプログラムをもとに自閉症の人たちへの療育を実践している人々が集い、実践報告や情報の交換などを行ないました。昨年に続きアメリカ・ノースカロライナ大学TEACCH部部長ゲーリー・メジボフ教授、セラピストのスザン・ボズウェルさんから最新の情報提供がありました。また「実践報告」の分科会や入門解説講座「基礎からの評価と自立課題」などの講座が開かれました。

期日：8月23日～24日

主催：自閉症カンファレンスNIPPON実行委員会

朝日新聞厚生文化事業団

後援：厚生労働省 文部科学省

【知的障害者リハビリ音楽療育】

主催

今年度は1月23日、大田区池上の知的障害者更正施設（通所）池上福祉園を東京ミュージック・ボランティア協会のキラキラスターズの皆さんが訪ねました。

知的障害をもった人たちがみんなで歌ったり、太鼓やカスタネットなどの打楽器を叩いたり、みんなと合わせてリズム動作を楽しみました。そして時間の経過とともに表情が生き生きと輝きました。療育音楽において楽器を演奏したり歌を歌ったりすることは、精神的にストレスの発散を促し、身体的には音楽に乗って日常あまり使わない筋肉や関節などを使う



キラキラスターズ

ことで、無理なく自然なりハビリにつながるといわれます。日々の生活にメリハリをつけ、心身の活性化につながる療育音楽・音楽療法活動を体験することは意義のあることです。

協力：東京ミュージック・ボランティア協会

【第10回障害者のわくわくカラオケコンクール 共催】



♪晴れた空～

視覚の障害、心身の障害、また喉頭がん治療で声帯を失ったり様々なハンディを持った人々のカラオケコンクールが、3月17日、新宿区の牛込簞笥区民ホールで開催されました。音感が人一倍鋭い視覚障害者の安定した歌いっぷり、ほとんど声を失い壮絶なりハビリを乗り越えた人の堂々たる歌いっぷり、亡くなった友人に捧げる歌を歌った障害者など、力一杯の歌声は感動的でした。生きがいを見出して社会活動に積極的になり、ひいては心身の健康につながる。カラオケは障害者の最適なパフォーマンスとして好評を得ています。

共催：日本チャリティー協会



受賞のみなさん

【その他的心身障害者福祉事業・団体への支援】

●第25回高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援

聴覚障害者の福祉向上と手話の普及を目指して「第25回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」が8月30日、有楽町朝日ホールで開催されました。このコンテストは“夏の手話の甲子園”とも言われ、全国予選を通過した10人の高校生が、弁論と手話で熱のこもった語りかけを展開します。

過去の出場者からは手話通訳士、医師、看護師などで活躍されています。今回「自分なりの幸せとは何ですか」をテーマにスピーチした神奈

川県・自修館中等教育学校の皆川愛さんが優勝しました。また秋篠宮妃殿下ならびに眞子内親王殿下がご臨席され、開会式では秋篠宮妃殿下より「手話に対する理解をさらに深め、出場される一人ひとりが美しく、豊かな手話で表現されることを期待しております」とのお言葉がありました。

提供 朝日新聞厚生文化事業団



主催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞社

朝日新聞厚生文化事業団

後援：厚生労働省、文部科学省他

優勝した皆川愛さん
(神奈川・自修館中等教育学校)

●第24回<東京の夏>音楽祭2008

協力・助成

テーマ「森の響き・砂漠の声」

内 容 *ジスモンチ・オーケストラ・コンサート

*ジスモンチ・ソロ・コンサート

*アマゾン・インディオとサハラ遊牧民と行く奥多摩の森、
音楽キャンプ

*シンポジウム<森と遊ぶ、砂漠にうたう> ほか

期日：7月3日～7月31日

場所：紀尾井町ホール、浜離宮朝日ホール

都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村 他 都内各音楽ホール

主催：アリオン音楽財団、朝日新聞社

後援：外務省、文化庁、ブラジル連邦共和国大使館 他

●ファミリー“童謡”チャリティコンサート

後援

唱歌・童謡のコンサートに障害者、高齢者、児童を無料招待

①期日：平成20年7月5日

場所：東大和市民会館 ハミングホール

主催：NPOポポロ（NPO日本と世界の愛唱歌をうたう会）

後援：東大和市教育委員会（社福）東大和市社会福祉協議会

社団法人日本童謡協会 他

②期日：平成21年3月1日

場所：ルネこだいら

主催：NPOポポロ（NPO日本と世界の愛唱歌をうたう会）

後援：小平市教育委員会、社団法人日本童謡協会他

●心身障害者施設合宿訓練

助成

1. 第31回わらじの会夏合宿

目的：日常的自宅生活を余儀なくされている障害者と地域に住む多くの人々との交流の場を設け、この合宿を通して会の目的である『全ての人が共に生きられる地域社会を作る』ことを目指して実施する。

期日：平成20年8月22日～24日

場所：グロリア九十九里浜（千葉県旭市）

2. 千葉県手をつなぐ育成会～療育親子の旅～

目的：在宅の知的障害児・者とその保護者を対象とし、障害児・者に対しては集団生活訓練を行い、保護者に対しては家庭における療育について、2日間の集団行動により学び、知的障害児・者の福祉の向上をはかる。

期日：平成20年11月18日～19日

場所：ホテル磯部ガーデン（群馬県安中市）

3. 血友病患者の子供たちを支援するむさしの会夏合宿

目的：血友病の子供たちが自立していくように医師の指導により自分で血液凝固剤を注射できるように実習したり、また子供同士で血友病の悩みを話し合って相互に励ましあい、将来の生活を元気に送っていく糧とするもの。

期日：平成20年8月1日～3日

場所：ウェルピア千葉（千葉厚生年金休暇センター）

●第24回DPI日本会議全国集会岩手大会

後援

DPI（障害者インターナショナル）日本会議は、国連N G OであるDPIの国内組織として、すべての障害者の人権確立と自立生活の実現を目指して、障害種別を超えた活動を展開しています。24回大会では『地域で共に学び、暮らせる社会へ～おでんせ！岩手』の大会テーマのもと、障害者の権利、差別の禁止をテーマに活発な話し合いが行なわれました。

期日：平成20年6月14日～15日

会場：いわて県民情報交流センター・アイーナ

主催：特定非営利活動法人DPI日本会議

●第21回福祉MY HEART美術展

特別助成

～2008年障害者オリンピック（パラリンピック）北京大会記念～

展覧会期：2008年6月22日～29日

会 場：上海市障害者藝術センター（中国）

企画・共催：N P O法人マイハート・インターナショナル

上海市障害者連合会

●AJU自立の家「多治見ワインフェスタ」

後援

社会福祉法人AJU自立の家ピア名古屋では知的障害者の働く場として、多治見にある多治見修道院からぶどう畠とワイナリーの提供を受け、ぶどう栽培育成からワイン醸造の手伝いまでの作業を授産科目としています。日本で最も暑い多治見での炎天下作業、寒風の中の剪定作業を通して労働の辛さ、苦しさ、収穫の喜びを体験しています。その成果発表する場として「ワインフェスティバル」が開催されました。なお販売で授産工賃10万円を目標に知的障害者が自立を目指しており、全国的に注目されています。

期日：平成20年11月3日

主催：社会福祉法人AJU自立の家 ピア名古屋

場所：多治見神言修道院（岐阜県多治見市）

●第46回「わたしたちが創る展」

後援

鉄道弘済会の事業で知的障害者施設・弘済学園（神奈川県秦野市）の園生手作りの作品展が今年も東京駅で開催されました。展示・即売されたのは織物、木彫り、鉢花（シクラメン）など4600点余り。

イベントに賛同して毎回オープニングセレモニーに参加していただいている俳優の館ひろしさんが今年もテープカット、大勢のお客さんを前に賑やかにスタートしました。また館さんの提案でこれまでの展示会名「ぼくにもできる展」から女子も含まれているということで「わたしたちが創る展」に今回からタイトル変更されました。

イベント期間中、東京駅地下街の一角が大勢の見学者・お客様でとても華やぎました。

期日：平成20年12月1日～5日

場所：JR東京駅丸の内北口地下・動輪の広場

主催：鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会

特別協力：石原プロモーション



館 ひろしさん



手作り作品

●自立援助ホーム「憩いの家」資金バザー

後援

目的：自立援助ホーム「憩いの家」運営資金のためのバザー

会場：日本橋高島屋 8階催場

会期：平成20年12月18日～25日

構成：手芸品 衣料品 日用雑貨 食料品 書籍 など

主催：社会福祉法人青少年と共に歩む会

●わんぱくクラブ育成会庄野真代アコースティックコンサート

後援

期日：平成20年2月28日

場所：世田谷区民会館

主催：特定非営利活動法人わんぱくクラブ育成会

●お正月を楽しもう会

協力

事業団では1月14日、東京都立府中療育センター『重症心身障害児(者)施設』で開催された「お正月を楽しもう会」に協力しました。

療育センターの入所者や施設で働く看護師や医師、職員のみなさんに正月気分を味わってもらおうと縁起物の獅子舞『松本源之助社中』と『盛り上げ口上師めでたや信さん一行』、風船芸の『二瓶元太さん』に参加して頂き訪問しました。



獅子舞



風船芸

児童福祉

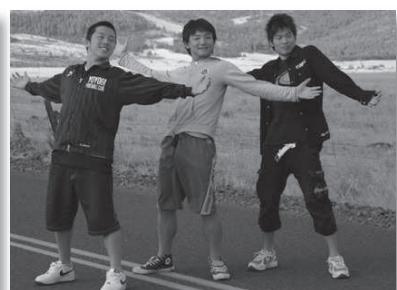
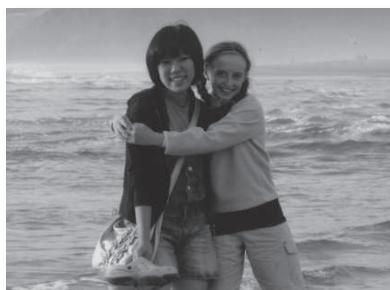
【高校生海外生活体験の旅 in オレゴン

主催

事業団では東京都の児童福祉施設の高校生を対象に「海外生活体験の旅」を実施しています。昨年度に引き続き、今回も8月19日～26日の1週間、アメリカ・オレゴン州ポートランド市に男子3名、女子5名を招待・派遣しました。全泊ホームステイして各家庭で異文化を直に体験するという旅です。アメリカ人コーディネーターによる英語の授業や高齢者施設での昼食時の配膳手伝い、折り紙や歌のプレゼントなどボランティア活動を行うというふれあいも体験しました。その他自然環境の見学やスーパー・マーケット体験にも挑戦し、一週間ぎっしりつまつたスケジュールで充実した海外生活体験の旅でした。

共催：東京都社会福祉協議会児童部会

後援：原田積善会



東京都児童福祉施設競技大会 江戸っ子杯野球大会2008

共催



東京都の10の児童福祉施設から中学3年生までの150名が参加して「江戸っ子杯野球大会」が8月4日～6日、三鷹市の大沢グラウンドで開かれました。元プロ野球選手デニー友利さんをゲストに迎え、「勝負だけにこだわらず友達づくりをしてください」との挨拶を頂き、始球式のあとプレーボール。選手たちは普段の練習成果を遺憾なく発揮し、3日間にわたって好ゲームが展開されました。決勝戦はエースの投げ合いとなり、終盤に得点した石神井学園が優勝。事業団より優勝トロフィーを贈呈、また出場者全員に特製の野球帽とスポーツバッグが贈られました。

共催：東京都社会福祉協議会児童部会
毎日新聞東京社会事業団
報知社会福祉事業団
後援：東京都、三越厚生事業団



全出場チーム

わいわい面白ハイク

主催

事業団では養護施設で生活している子どもたちを招待して、毎年川釣り体験、年末の餅つき大会を行っています。

●～中津川マス釣り体験ツアー～

今年のマス釣り大会は2回、梅雨も明けた7月12日、爽やかな初秋の9月27日、神奈川県愛川町の中津川マス釣り場で行いました。マス釣り体験ツアーには毎回テレビ朝日釣り部のOBがボランティア参加して、子どもたちの「餌付け」「糸がからまった！」「針がはずせない！」「魚がつかめない！」まで面倒を見てもらっています。普段めったに川釣り

をやったことのない子どもたちでしたが、初めて自分で釣り上げて歓声を上げる子ども、また20匹も釣り上げる子どももいて楽しい1日となりました。



●～年末・餅つき大会～

今年の餅つき大会は12月13日、東京日の出町の知的障害者支援施設「太陽の家」の協力で行いました。こどもたち・指導員総勢47人が元気に集合。まず施設内の工房で陶芸体験や施設内の古民家や裏山を探検、お腹もすっかり準備万端！ いよいよ餅つきです。

子どもたちは指導員による杵の持ち方や構え方を教わって、はやる気持ちで餅つき体験。みんなで我先を競って何度も何度もペッタン・ペッタン。

あんころもち、からみもち、鶯もちでお腹が一杯になり、お正月前の楽しいひと時を過ごしました。



里親大会

共催/後援

●第54回全国里親大会

共催

今年の全国里親大会・里親フォーラムは10月4日～5日静岡県浜松市で開催されました。4日は4人の里子による「里親家庭に育って」のテーマでパネルディスカッション。翌日はかつて施設で生活した経験のある茨城県高萩市長・草間吉夫氏の「ひとりぼっちの私が市長になった」というテーマで基調講演。続いてパネルディスカッション「地域で子どもを育てよう」が行われ、「社会的養護を必要とする子ども家庭の現状と課題」について熱い意見が交わされました。



共催：厚生労働省、静岡県 他

●第54回関東甲信越静里親研究協議会

後援

期日：平成20年7月6日

場所：立正大学大崎キャンパス（東京都品川区）

主催：関東甲信越静里親連絡協議会、特定非営利活動法人東京養育家庭の会、東京都社会福祉協議会、全国里親会、東京都 他

【夏の大学たんけん隊】～福祉の心はみんなの心～

後援

法政大学現代福祉学部高橋ゼミのイベント「夏の大学たんけん隊～福祉の心はみんなの心～」が8月9日、法政大学多摩キャンパスで開催されました。八王子市の子ども育成計画に盛り込まれている「大学を利用した体験学習—夏休みは大学に行こう—」をテーマに今年で4回目、当事業団でも支援しています。参加者は地元八王子市の小学生、保護者、ボランティアなど。構内で「みんなでつくろう☆巨大パズル」「玉いれ」「ペットボトルボーリング」「迷路」「手話伝言ゲーム」などを楽しみ、保護者は八王子市家庭支援センターによる子育てセミナーを受講しました。

主催：法政大学現代福祉学部高橋利一教授ゼミナール



【第2回演劇ワークショップRemix】

共催

児童養護施設で生活する中高生対象の演劇ワークショップ「Remix」を12月26日～28日まで、河口湖のビレッヂサンレークで開催しました。児童養護施設の子どもたちは総じて自己評価が低く、コミュニケーション能力に欠けると言われています。このワークショップは、演劇を用いて創作発表活動を行うことで、創造力や自己表現力を高め自

信をつけることを目的としています。講師は俳優で演出家の柏木陽さんとコンテンポラリーダンスの森下真樹さん、コーディネーターは吉野さつきさん。参加者は男女合わせて16名。提案された課題は「私といえば、コレッ！」。講師からさまざまな表現方法を学び、自分の中にある何かを引き出してもらい、縄跳びしながら、ブリッジしながら、紙芝居立てで、ピアノ演奏で、音と演奏で、それぞれ独創的な手法で「私」を発表。続いてみんなで「私」を生かした小さなオリジナル作品を作り上げました。

主催：朝日新聞厚生文化事業団

後援：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、群馬県、
茨城県各社会福祉協議会



第58回社会を明るくする運動

協力/後援

法務省主唱の「社会を明るくする運動：7月1日～1ヶ月間」の今年の統一標語は「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」です。犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。事業団では港区「青少年育成大会 in 六本木ヒルズ」と東京藝術大学で行われた中央行事「匠に学ぶワークショップ」に協力しました。

●青少年健全育成大会 in 六本木

広報活動の一環として7月12日、港区実施委員会主催『第58回社会を明るくする運動 青少年健全育成大会 in 六本木』が六本木ヒルズ

アリーナで開催されました。港区立南山小学校南山ジャズバンド、高松中学校吹奏楽部、六本木中学校吹奏楽部が参加して理解を訴え、またジャズ演奏の夕べが開かれました。事業団ではジャズトランペッターの日野皓正さんを特別ゲストにお招きし、スペシャルメッセージを頂きました。最後に行われた出演者と観客を交えての大合奏では日野さんが飛び入り参加、六本木ヒルズに素晴らしい演奏が響き渡りました。

会場：六本木ヒルズアリーナ



日野皓正さんとジャズセッション！

●匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学

東京藝術大学では夢や希望を持って生きていける明るい地域づくりに貢献するため同運動に賛同して、平成15年から子どもと保護者がいっしょに過ごせる創作・表現の場とその指導に当たる専門家との交流の機会を提供するワークショップを開催し、また当事業団もこの主旨に賛同して支援してきました。

今年は8月2日に開催され、台東区内の小学生と保護者ら123名が芸術大学の先生や学生らの指導を受けながら創作体験をしました。

講座は

1. 鍛金教室～銀のスプーンを作ろう！
2. デザイン教室～いろいろな表情を観察して立体的なお面を作ろう！
3. 音楽教室～竹の太鼓を作って、演奏しよう！

場所：東京藝術大学（台東区）

■ 第3回カゴメフィランソロピーLPGAプレイヤーズチャンピオンシップ 後援

“フィランソロピー”とはギリシャ語で『人を愛する』という語源で『博愛』『慈善』など“慈善活動”を意味しています。

“働く女性をサポートする”をメインテーマに掲げ“ゴルフトーナメ



優勝 全美貞プロ

ントを通じた社会貢献活動を目的としたゴルフトーナメント「フィランソロピーL P G Aプレイヤーズチャンピオンシップ」が7月24日～27日までの4日間、内外の錚々たる女子プロゴルファーを招いて千葉県の習志野カントリークラブキング・クイーンズコースで開かれました。（最終日、テレビ朝日系列で放送）

出場選手の獲得賞金や入場料など大会の収益金の一部は事業団を通して以下の9施設に寄贈されました。また、主催者スポーツフィランソロフィー協会より「岩手・宮城内陸地震、中国・四川省大地震、ミャンマー・サイクロン」災害による被災者支援の義援金が当法人を通して日本赤十字社へ寄託されました。

平成20年度 寄贈先

1. 丘の上乳幼児ホーム（宮城県仙台市） 通院用軽自動車
2. 聖オディリアホーム乳児院（東京都中野区） 室内用大型保育遊具
3. 聖友乳児院（東京都杉並区） 室内用運動遊具
電動開閉式テント
4. 乳児院 静岡恵明学園（静岡県三島市） 通院用自動車
5. 麦の穂乳幼児ホームかがやき（岐阜県中津川市） 園庭大型遊具
6. 和泉乳児院（大阪府泉大津市） 乳幼児用おさんぽカー
乳幼児居室エアコン
7. 大念佛乳児院（大阪市） 通院用自動車
8. 乳児院なかべ学院（山口県下関市） 通院用自動車
9. 熊本乳児院（熊本市） 幼児寝室 遊戯室エアコン
パソコン



室内用大型保育遊具



通院用自動車



園庭大型遊具

本事業は2006年度からスタートし、3年間で全国の乳児院等27施設へ支援できました。この支援に対し全国社会福祉協議会・全国乳児福祉協議会より、感謝状をいただきました。



長井晶子会長より感謝状

【児童福祉施設職員のためのワークショップ 共催

～被虐待児童理解のための施設職員研修～

児童福祉施設では被虐待児童など、行動上の問題を抱えた児童が増加しています。これらの背景には家族の問題や、地域社会の影響によるところが多く、児童福祉分野に従事するスタッフには、その理解とより高度で専門的なトレーニングが求められます。そこで児童福祉分野に従事するスタッフを対象に被虐待児に対し、専門的で効果的なケアの提供ができる職員の養成を目的としたワークショップを行いました。1980年代から児童虐待やネグレクトの問題に取り組み日米の子供と家族の治療に黙っててきたDr.田中万里子、Dr.ロジャー・カミングス両氏を今年も迎え、応対技術（非言語コミュニケーション）応答技術（効果的なコミュニケーション）、肯定思考、神経言語、パラフレーズ、リフレクションなど実践してすぐに役立つ講義が行われました。

期日：平成20年9月24日～25日

場所：ザ・クレストホテル立川（立川市）

共催：（社福）至誠学舎立川 至誠学園



ワークショップ風景

【他の児童福祉事業・団体への支援

●こどもの国（横浜市）のお正月行事

助成

事業団では、こどもの国（横浜市）で開催されるお正月行事を支援・協力しています。

～ジャンボカルタ取り大会～

縦横1メートル四方の「ジャンボいろはカルタ取り大会」が1月2日～4日、行われました。参加者は広場に撒かれた絵札を取り囲み、問い合わせの札が読まれるとカルタに向かって猛ダッシュ、札を取り合います。

子どもたちは自分の背丈ほどのカルタに悪戦苦闘しながら楽しんでいました。



ジャンボカルタ取り

～どんど焼き～

1月11日、中央広場で恒例のどんど焼きが行なわれました。園内に自生する笹や竹でやぐらを組み、門松などで土台を作り、参加者が持ち



どんど焼き

寄った松飾りや、しめ縄、だるまなど正月飾りを添えて年男や年女が焼きあげます。参加者は燃え盛る炎に書初めや短冊をくべて願をかけ一年の無病息災を祈願しました。事業団では参加者にアツアツの焼き芋をプレゼントしました。

●第58回児童福祉施設文化祭

後援

秋の恒例行事、児童福祉施設文化祭が11月16日、明治神宮会館で行われました。この催しは施設児童（児童養護、自立支援、知的障害児施設）に情操面の積極的な育成を図るため1951年から続けられています。

この日、関東各地から集まった子どもたちは器楽合奏、吹奏楽、琴、創作舞踊や日本舞踊、合唱など日頃の練習の成果を発表しました。会場には施設関係者だけでなく友人や家族も応援に詰めかけ、出演者たちは大きな舞台で元気一杯に日頃の練習の成果を披露しました。

主催：日本民生文化協会

●第50回慈彩会展

後援

日本橋三越本店で50回目の「慈彩会展」が7月8日～13日に開かれました。この催しは政界、財界、芸能界など各界の第一線で活躍している方々に絵画・書道・工芸などの美術作品を出品して頂き、展示即売し収益金で毎年秋に児童福祉施設の文化祭を行ったり、社会福祉活動に働く人々に使われます。

主催：慈彩会

後援：厚生労働省、日本民生文化協会



●子どもへの暴力防止プロジェクト助成

後援

目的：“子どもたちのこころに安心の芽を育てるために”をキャッチフレーズに子どもへの暴力・虐待の防止・啓発・教育やケアなどの活動に携わる団体やグループが行なうプロジェクトに対する助成事業です。助成総額1億5千万円の範囲内で1団体あたりの助成額に上限はありません。今年度は20団体に助成しました。

主催：朝日新聞社、朝日新聞厚生文化事業団

後援：厚生労働省

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

本年度もプロ野球ヤクルト戦入場券を東京善意銀行を通じて244枚を東京都内の障害者施設、児童施設など56施設にプレゼントしました。

第18回ミュージックウェーブ

児童養護施設へ楽器をプレゼント

事業団ではテレビ朝日が年末に放送している「ミュージックステーションSP・スーパーライブ」から拠出されている基金「ミュージックウェーブ」で、毎年全国の児童養護施設へ楽器のプレゼントを行っています。18回目の今年は6施設にキーボード、フォークギター、長胴太鼓、オーケストラチャイムなどを贈りました。これで贈呈先は延べ114施設、また今回も地元のテレビ朝日系列局でニュースとして取り上げられました。

— 平成20年度楽器贈呈先 —

- | | | |
|--------|-----------|--------------------|
| 1. 兵庫県 | 児童ホーム・東光園 | 長胴太鼓、締太鼓他 |
| 2. 京都府 | 峰山乳児院幼児寮 | キーボード、マーチングドラム他 |
| 3. 滋賀県 | 湘南学園 | 電子ピアノ、フォークギター他 |
| 4. 東京都 | カリタスの園 | アコースティックギター、電子ドラム他 |
| 5. 宮城県 | 丘の家子どもホーム | オーケストラチャイム他 |
| 6. 岩手県 | 大洋学園 | アップライトピアノ、オルガン他 |



テレビ朝日福祉文化事業団創立30周年事業

横浜開港150周年記念

国際シニア合唱祭ゴールデンウェーブ in 横浜

特別後援

“魅惑の殿堂で 共に喜びと感動を！” をテーマに国内外のシニア合唱団が一堂に会しての合唱祭で出演団体83団体、約3,200名のイベントとなりました。横浜開港記念行事にふさわしくテーマ曲も作詞は日野原重明氏、作曲は池辺晋一郎氏に作ってもらい、横浜から愛と平和を発信しました。

開催場所：横浜みなとみらいホール・大ホール

開催日時：平成20年4月17日～18日

主 催：ゴールデンウェーブ開催委員会

横浜みなとみらいホール（財団法人横浜藝術文化財団）

地デジ放送対応テレビプレゼント

主催

昨年度に続いて、テレビ朝日とテレビ朝日福祉文化事業団は、テレビ朝日開局50周年と事業団創立30周年を記念し、また創立80周年を迎える朝日新聞厚生文化事業団と朝日新聞社の共催を得て「地上デジタル対応テレビを高齢者のグループホームに贈るキャンペーン」を実施しました。

住み慣れた地域で生活するための拠点福祉施設である認知症高齢者グループホームで生活する高齢者にとって、テレビ観賞は散歩、買い物、趣味の時間と並んで楽しみであり、日常プログラムとして大きな要素を



占めているといわれています。しかし、2011年のテレビ完全地上デジタル放送化を前に、多くのホームでは26～32インチ型で10万円以上という市販価格の地上デジタル放送対応テレビの買い替えに資金の目途が立たず、このままでは「高齢者から『笑顔』が消え、共通の話題が乏しくなるのではないか」と対応に苦慮している声が寄せられています。こうした声に応え、このキャンペーンを実施しました。



その他支援

「第56回全国盲人福祉施設大会」

後援

全国の盲人福祉施設の関係者が一堂に会し、障害者自立支援法の実施を踏まえ、「良質な福祉サービス」の提供、「地域支援での施設の役割」、「施設職員の資質向上」等について研究協議し、併せて施設で活動しているボランティア等の表彰を行い、視覚障害者の自立と社会参加を積極的に推進することを目的とする本大会を後援しました。

期日：平成20年6月19日～20日

会場：下関グランドホテル（山口県下関市）

後援：厚生労働省 山口県 下関市 日本盲人福祉委員会 他

主催：日本盲人福祉委員会 日本盲人社会福祉施設協議会

【軽井沢の森音楽祭2008

後援

避暑地軽井沢にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の主要メンバーが集まりました。軽井沢大賀ホールを中心に軽井沢各所で開催される本音楽祭は、小・中学生、高校生、高齢者と世代を超えて本物のクラシック音楽に触れることが出来る素晴らしい機会です。

日時：平成20年7月19日～8月15日

会場：軽井沢大賀ホール、ホテルマロウド軽井沢、旧軽井沢ホテル音羽ノ森

主催：林家総合研究所 音楽事業部

【第2回『家族の日』 ポポロファミリー童謡コンサート】後援

期日：平成20年11月12日

会場：ルネこだいら・レセプションホール

共催：NPOポポロ（NPO日本と世界の愛唱歌をうたう会）

NPO法人「子育て広場きらら」

後援：小平市教育委員会（社福）小平市社会福祉協議会 社団法人日本童謡協会他

第57回東京都社会福祉大会

協賛

東京の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し、感謝の意を表します。この表彰を通して、優れた活動内容を紹介することにより、福祉活動の普及・推進を行い、利用者本位の新しい福祉の実現を図るもので

期日：平成20年12月19日

会場：東京都庁第一本庁舎 大会議場

主催：東京都 東京都社会福祉協議会 東京都共同募金会

加入する福祉諸団体

- ・高齢社会N G O連携協議会
- ・（財）助成財団センター
- ・（社福）東京都社会福祉協議会

第41回社会福祉大相撲



黄色の帽子をプレゼントする魁皇関

「交通事故防止キャンペーン」のスローガンを掲げて行なってきた「社会福祉大相撲」は今年で41回目。10月11日(土)の両国国技館では恒例の「十両トーナメント」「幕内トーナメント」「初切り」「三大関 vs 豆力士」「相撲甚句」に加えて、本場所では見られない横綱白鵬関による

土俵上での「横綱の綱締め実演」なども披露され大相撲の歴史と伝統を見ることができ、観客からは大きな拍手がありました。

また、今年の交通事故防止キャンペーン「黄色い帽子」のプレゼントは大関魁皇から品川区立大井第一小学校児童に手渡され、「車に気をつけて元気で明るく楽しい学校生活を送ってください」とのメッセージをいただきました。

「関取とタレントのバラエティショー」には人気力士高見盛関が司会役に挑戦、松尾アナと息の合った達者ぶりでした。また普天王関と本名(ほんな)カズトさんとのコラボ、ゲスト歌手の川嶋あいさんが天使の歌声で4曲披露していただきました。

事業団では今年も心身障害者施設、高齢者施設などから多くの方々を招待しました。社会福祉大相撲の純益は交通事故防止諸団体へ寄付するとともに様々な社会福祉事業に役立てられます。



横綱白鵬の土俵入り



幕内優勝は琴光喜

(寄付先) 財団法人 全日本交通安全協会
財団法人 東京交通安全協会
財団法人 日本交通安全教育普及協会
社会福祉法人 こどもの国協会
交通事故遺児を励ます会



はっけーよい！



綱締の実演

今年度の社会福祉大相撲は、次の各社・団体のご協力により開催できました。厚く御礼申し上げます。

協賛会社および団体名 (敬称略・五十音順)

(株)朝日新聞社	(株)アサヒファシリティーズ	池上通信機(株)
エア・ウォーター防災(株)	エステックサービス(株)	(株)大塚商会
(株)関電工	国際自動車(株)	スカパーJ S A T(株)
(株)シー・アイ・シー	松竹(株)	新日本プロレスリング(株)
住友信託銀行(株)	住友生命保険相互会社	(株)セルメスター
(株)損害保険ジャパン	(株)台東サービス	大和自動車交通(株)
ダイダン(株)	帝都自動車交通(株)	テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日サービス	(株)テレビ朝日データビジョン	(株)テレビ朝日ベスト
(株)テレビ朝日ミュージック	(株)テレビ朝日リビング	東映(株)
(株)東京サウンド・プロダクション	東京綜合警備保障(株)	(株)東京美術
東京無線共同組合	(株)東芝	東宝(株)
東邦航空(株)	(株)トラストネットワーク	日個連東京都営業協同組合
日本アサヒ機工販売(株)	(株)日本ケーブルテレビジョン	日本興亜損害保険(株)
日本歯科衛生協会	日本電気(株)	(株)ビデオ・パック・ニッポン
ビデオトロン(株)	(株)日立国際電気	(株)日の丸リムジン
富士映画(株)	富士ゼロックス(株)	(株)フレックス
(株)文化工房	(株)放送技術社	(株)マルゼン
(株)三井住友銀行	三井住友海上火災保険(株)	三菱電機(株)
(株)三菱東京U F J銀行	(株)ミヤギ	(株)ムラヤマ
横浜エレベータ(株)東京支店	ユーレストジャパン(株)	立正佼成会

協 賛 財団法人日本相撲協会

協 力 東京原宿ライオンズクラブ

東京蔵前ライオンズクラブ

東京六本木ライオンズクラブ

特別協力 国技館サービス株式会社

広告協賛会社および団体名（敬称略・五十音順）

アラコム(株)	(株)泉放送制作	インターナショナルエクスプレス(株)
鹿島建設(株)	(株)共立	(株)公共事業 P R センター
(株)コマデン	(株)シービーエス	(財)J K A
(株)ジョリエス	シンエイ動画(株)	(株)竹中工務店
(株)テイクシステムズ	(株)テレビ朝日クリエイト	(株)テレフィット
東京海上日動火災保険(株)	東京ガス(株)	(株)文祥堂
(株)増岡組		

商品協賛会社（敬称略・五十音順）

市川商事(株)	銀座きしや	ケンミン食品(株)
チャイナハウスカモメ	伊香保温泉一富士ホテル	(有)カシオペア
(株)東京ネットワーク社	万座温泉ホテル	(株)毛髪クリニックリーブ21
ライオット警備(株)	ホテルリストル猪苗代	

字幕放送・手話放送・解説放送 推進事業

独立行政法人情報通信研究機構は、福祉社会における放送を通じた情報へのアクセスの機会の均等を図るために字幕番組等の制作費の一部を助成しております。また助成先は公益法人（テレビ朝日福祉文化事業団など）であることが条件となっています。

当事業団は、この助成に対して交付申請を行うなどし、字幕付テレビ番組等の制作を促進し、聴覚・視覚障害者や高齢者などが放送を利用するための向上を図っております。

平成20年度は以下のとおり助成金の交付を受けて事業を行いました。

◎字幕番組	50,286,500 円
◎手話番組	595,300 円
◎解説番組	672,000 円
合 計	51,553,800 円

災害被災者支援義援金

中国・四川省大地震、ミャンマー・サイクロン、国内・海外

今年度表題の災害に対して、視聴者の方々からの災害義援金としてテレビ朝日より「ドラえもん募金」および一般の方々からの義援金が事業団に寄せられました。義援金内訳は次の通りです。

義 援 金

(平成21年4月30日現在 単位:円)

	テレビ朝日 ドラえもん募金	一般義援金	合 計
中国・四川省大地震、 ミャンマー・サイクロン	114,496,311	761,400	115,257,711
中国・四川省大地震	0	2,180,515	2,180,515
ミャンマー・サイクロン	0	782,956	782,956
国 内・海 外 灾 害	0	1,200,000	1,200,000
合 計	114,496,311	4,924,871	119,421,182

中国・四川省大地震、ミャンマー・サイクロン被災者支援募金

テレビ朝日 ドラえもん募金

募金期間 平成20年5月13日～6月15日

告知枠 スーパーJチャンネル、報道ステーション他

募金総額 114,496,311円

募金明細	ダイヤルQ2	106,186,311円
	テレビ朝日アトリウム設置募金箱	310,000円
	テレビ朝日	4,000,000円
	(株)藤子・F・不二雄プロ	2,000,000円
	シンエイ動画(株)	2,000,000円

一般の方々からの義援金

総 額 3,724,871円

明 細	一般視聴者	3,724,871円
-----	-------	------------

寄託先	日本赤十字社	54,506,311円
	中国大使館	20,000,000円
	国連難民高等弁務官事務所	20,000,000円
	ジャパン・プラットフォーム	20,000,000円
	AMDA	3,714,871円



寄託日	平成20年6月11日	20,000,000円
	テレビ朝日福祉文化事業団理事長君和田正夫より中国大使館 雀天凱駐日大使へ寄託	
	平成20年6月12日	40,000,000円
	テレビ朝日福祉文化事業団理事長君和田正夫より日本赤十字社社長近衛忠輝氏へ寄託	
	平成20年6月17日	20,000,000円
	テレビ朝日福祉文化事業団理事長君和田正夫より国連高等弁務官事務所赤野間征盛理事長へ寄託	
	平成21年1月21日	20,000,000円
	テレビ朝日福祉文化事業団事務局長高井正憲よりジャパン プラットフォーム鈴木事務局長と長代表理事へ寄託。	
	平成21年1月22日	14,496,311円
	テレビ朝日福祉文化事業団事務局長高井正憲より日本赤十字社勝村組織推進部長と田坂国際部長へ寄託。	
	平成21年3月19日	3,714,871円
	テレビ朝日福祉文化事業団事務局長高井正憲よりAMDA緊 急救援担当谷口氏へ寄託。	

平成21年4月16日 10,000円
テレビ朝日福祉文化事業団常務理事佐方紀子より日本赤十字社総務局組織推進部長三井氏へ寄託。

国内・海外災害被災者支援金

一般の方々からの義援金

総額 1,200,000円

明細 岩手・宮城内陸地震、中国・四川省大地震、ミャンマー・サイクロン被災者義援金

スポーツフィラソロフィー協会 1,000,000円

岩手・宮城内陸地震被災者義援金

城南質屋協同組合 200,000円

寄託先 日本赤十字社 1,200,000円

寄託日 平成21年3月24日 1,200,000円

テレビ朝日福祉文化事業団常務理事佐方紀子より日本赤十字社総務局組織推進部法人係長糸魚川氏へ寄託。

ご協力いただきました視聴者の方々に厚く御礼申し上げます。

ご寄付をいただいた方々

一般寄付（敬称略・順不同）

個人7名 (株)テレビ朝日 (株)テレビ朝日ミュージック
(株)シンエイ動画 (株)藤子・F・不二雄プロ テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日リビング (株)テレビ朝日ベスト (株)文化工房
(株)テレビ朝日サービス (株)トラストネットワーク (株)テレビ朝日クリエイト
城南質屋協同組合 (株)フレックス (株)テイクシステムズ
新日本プロレスリング(株) (株)ビデオ・パック・ニッポン 英和(株)
(社)日本女子プロゴルフ協会 スポーツフィランソロフィー協会
巨人軍原辰徳監督を励ます会 大阪府豊中南遊技業組合
(福)東京都社会福祉協議会 けやき坂カルチャー教室
テレビ朝日番組「ミュージックステーションスペシャル」

なお、ご寄付をお寄せ頂きました個人のご芳名は個人情報保護のため
掲載を割愛させて頂きました。

◇ご寄付くださる皆様へのお願い◇

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆様のご寄付によって支えられています。個人には所得控除、法人は損金算入が認められます。

また、香典返しの一部を社会福祉事業に、とのお考えをお持ちの方々
からのご寄付を承っています。

ご意思のある方はご連絡ください。電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797

なお、ご寄付の送り先は、直接現金書留でお送りいただくか、郵便振替でお願いいたします。

現金書留の場合

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 テレビ朝日福祉文化事業団

郵便振替の場合

00110-6-761778 「こころの樹」 にお振込みください。

平成20年度収支報告

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

(単位 : 円)

科 目	金 額
収 入 の 部	
寄付金収入	26,743,030
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	11,223,342
運用財産利子収入	239,229
社会福祉大相撲事業収入	24,607,500
当期収入合計 (A)	62,813,101
前年度繰越額 (B)	126,494,926
収入合計 (A+B)	189,308,027
支 出 の 部	
高齢者福祉費	8,282,006
心身障害者福祉費	7,645,682
児童福祉費	19,823,606
ミュージックウェーブ	4,002,695
社会福祉大相撲事業支出	22,190,497
交通事故防止団体等支援金	1,400,000
災害援護活動・支援費	5,600,000
30周年記念事業	16,127,091
広報費	3,535,940
事務費	10,286,875
人件費	8,839,514
当期支出合計 (C)	107,733,906
当期収支差額 (A - C)	△ 44,920,805
次期繰越額 (A + B - C)	81,574,121

テレビ朝日福祉文化事業団(平成21年3月31日現在)

理事長・評議員	君和田	夫	夫
常務理事・評議員	佐	子	子
理事・評議員	廣	貞	貞
理事・評議員	石	治	治
理事・評議員	高	一	一
理事	山	男	男
理事	岩	利	利
監事	平	哲	哲
評議員	若	總	總
評議員	坂	和	和
評議員	早	子	子
評議員	池	透	透
評議員	大	誠	誠
評議員	風	洋	洋
評議員	松	守	守
評議員	梅	博	博
評議員	古	治	治
評議員	宮	夫	夫
評議員	岩	介	介
		邦	邦
		成	成
		浩	浩
		三	三
事務局長	高	正	憲



tv asahi welfare foundation